長老と責任者のための国際的訓練
今日の主の回復の主要な項目の極めて重要な点—第7週　キリストのからだの一

鳥瞰	聖書の中で明らかにされている一を理解することは困難であるので、主イエスはヨハネ第 17 章で、一について祈りました。宇宙にはただ一つのからだがあることを見る必要があります。一の実行は一つ思いです。一つ思いは新約におけるあらゆる祝福のマスターキーです。その霊の一を保つ実行上の道はエペソ 4:1～３の五つの句です。「謙虚」「柔和」「辛抱強さ」「愛の中で互いに担い合い」「平和の結合するきずな」です。わたしたちは常にからだを考慮し、顧慮し、尊び、からだのために最善のことを行なうべきです。からだの肢体として、他の肢体によって制限されるようにし、自分の度量を超えないようにしなければなりません。	
	真理要点	経験適用
1日	1.「真の一」の霊的な意義を説明してください。 2 ヨハネ 17 章の主の祈りの中の一が、どのようにして実際化し、拡大されたものとなりましたか？	1.真の一は、単にわたしたちが共に集会するという事柄だけではありません。わたしたちの一はキリストの有機的なからだの一です。三一の神の三者（父と子と霊）は、この一の三つの神聖な要因であり、この三つの神聖な要因は一つの人性の要因とミングリングされて、からだにおいて究極的に完成します。このからだが真の一です。 2 .17 章における主の祈りの主題は一です。この時、この一はまだ実際ではありませんでした。しかしこの一の模範、三一の三者の間の一がありました。しかしまだ拡大されていませんでした。この拡大はペンテコステの日に来ました。その霊の注ぎ出しを通して、キリストのからだが生み出されました。そのからだは堅固な一です。
2日	1 .三一の神と贖われた人の人性とのミングリングの三方面とは何ですか？ 2. キリストのからだの一の実行は、どのように保たれ、また表現されますか？	1.第一の面は御父の御名の中にあり、彼の神聖な命による一であり、これは源と要素に関してです。第二の面は、三一の神の中にあり、彼の聖別する言葉を通してです。 この世から分離され、サタンの手から離れなければなりません。第三の面は、神聖な栄光の中の一です。これは御父の命と性質を持ち、父を表現することです。 2 .キリストのからだの一は、各地の地方召会によって保たれ、表現されます。召会生活の実行では、一つの都市にただ一つの召会があるだけです。諸地方召会は、宇宙にあるキリストの一つのからだの地方的な表現です。一つの地方にはキリストの一つのからだの地方的な表現が二つ以上あるべきではありません。
3日	1.この一の実行を保つための道として、「謙虚」であることで注意すべきことは何でしょうか？ 2.わたしたちは、どのようにして弱く、幼く、冷たく、後退した聖徒たちを召会へと戻しますか？	1.標準を設定しないことは、謙虚の実際的な実行です。キリスト以外のものを自分の標準としている限り、謙虚ではありません。もしわたしたちが高い標準を定めるなら、思いと態度においてもへりくだっていません。あるものがどれほど良く、天的で、霊的であっても、それがキリストご自身以外のものである限り、分裂を引き起こします。 2.主のあわれみによってわたしたちは、主を愛さない人たちを、主を愛する人たちよりさらに良く扱うべきです。わたしたちの冷淡な態度が、ある人をさらに後退した人にします。弱い人、幼い人、冷たくなり後退した人は、さらに愛を必要とします。弱い人、肉的で魂的な人、問題を持っている人を愛することは、彼らの大部分の問題を解決し、彼らが帰って来られるようにします。
4日	1. エペソ４:2 の 「柔和」の真の霊的な意味は何ですか？ 2. 召会の中で、多くの問題は誤解、不注意、冷淡で、厳格な態度から来ることを説明してください。	1. 柔和は態度の事柄です。「柔和」のギリシャ語は、温和、優しさ、利己的でないことを暗示します。召会におけるわたしたちの態度は、温和で柔和でなければなりません。わたしたちはみな砕かれる必要があります。もしわたしたちが利己的であるなら、決して真に柔和であることはできません。わたしたちは柔和であるために、自分自身を犠牲にしなければなりません。 2. 召会生活を持つために、召会生活がとてもきめ細やかであって、粗雑ではないことを学ぶ必要があります。予表によれば召会はきめ細かい小麦粉で作られた輪型の平らなパンです。ほとんどすべての誤解は、不注意な態度から出てきます。サタンは常に不注意な態度を用いて召会を攻撃します。こういうわけで、わたしたちは他の人たちに注意深くなければなりません。わたしたちの態度が不注意であってはなりません。敵によってうまく利用され攻撃に用いられないようにしなければなりません。
5日	1.召会の中で「辛抱強さ」はどのように経験するのでしょうか？ 2.召会生活の中で、どのように愛の中で互いに担い合うことを経験するのでしょうか？	1. 経験によれば、辛抱強いとはわたしたちの語った言葉と関係があります。ある兄弟がわたしたちを不当に扱っても、主の栄光のために、また召会生活のために、わたしたちはそれについて一言も語るべきではありません。兄弟たちが口論しているのを見ても、学課を学んでいるなら、一言も言わず、主の前に出て涙を流すでしょう。わたしたちはそのような正しい方法で自分の言葉を守ることを学ぶなら、召会生活における「苦難」という言葉の真の意義を認識します。 2.わたしたちは疑いや恐れに立場を与えてはなりません。ただ愛があるべきです。Ｉヨハネ 4:18 は愛には恐れがありませんと言います。わたしたちは疑いを持ってはなりません。ただ主を信じ、すべての兄弟たちは良いと考えます。他の人たちがわたしたちをどのように扱おうが、わたしたちは主の御手の中にあります。わたしたちがこのように実行するなら、ドアは敵に対して閉ざされます。
6日	1.なぜ、わたしたち各肢体はからだの尊い供給を学ぶ必要がありますか？ 2.からだの中で、わたしたちが度量の制限を受けることを説明してください。	1.かしらはキリストであり、からだもキリストです。それぞれの肢体は、キリストの命の一部分です。もしわたしたちが肢体仲間の助けを拒否するなら、キリストの助けを拒絶しているのです。ですから、わたしたちはからだの他の肢体に、わたしたちの必要に供給してもらわなければなりません。その人がただの単独のクリスチャンであるなら、それはおろか人です。 2.わたしたち各肢体は、キリストのからだの中で、神によって指定された自身の位置を持っており、わたしたちはそれを受け入れるべきです。キリストのからだは生きた命です。すべての肢体はかしらの命を受け、正しい秩序の中で機能しなければなりません。わたしたちとかしらの関係は、わたしたちのからだの中での位置を保ちます。
まとめ	主はヨハネ 17 章で、信者たちが一の中にあるように祈られました。エペソ 4 章で。その霊の一を保つ実行上の道が五つの美徳を用いるよう訓練する必要があることを啓示されました。「謙虚」は他の人に対してキリスト以外のものを標準としないことです ;「柔和」とは、温和と優しさ、利己的でない態度です。「愛の中で互いに担い合う」とは疑いや恐れに何の立場も与えないことです。召会生活を破壊しようとする敵の攻撃と破壊から、わたしたちの思いを守る必要があります、救いのかぶとを身に着ける必要があります。	